

## 介護老人保険施設 しおさい 田井中 真樹（ケアワーカー/通所）

- 功 績** リハビリスタッフ不足を解消するため、自らのアイデアや本を参考に、手作りで脳トレ道具を製作し、ご利用者の満足度向上と利用者減少の歯止め貢献した功績。
- 推 薦 者** 石井 武美（通所リーダー）
- 推 薦 理 由** 田井中は、介護の仕事は初心者で、しおさいに就職してまだ4ヶ月と日が浅い中、目の前のご利用者に満足していただきたいという強い気持ちから、自身で勉強し、脳トレの道具を製作。そのことにより、ご利用者の満足度の向上と、利用者の減少に歯止めをかけることにつながったため。

### 内 容

---

田井中は、介護分野の仕事に就くのが初めてで、日々先輩の指導を受けながら、介護の勉強をしています。入社して4ヶ月が経ち、今では送迎やご利用者の介助も自身で行えるようになりました。ある日、デイケアとデイサービスの違いについて調べていた際、リハビリの重要性と必要性を改めて感じ、この地域に唯一のデイケアであるしおさいの役割を再認識したそうです。

そんな中、通所担当のリハビリ職員が1名体調不良で長期の休暇をしなければならない事になりました。リハビリ実施回数が減ってしまうことで、ご利用者からは、しおさいにリハビリがあるので利用している、リハビリができないのであれば来る意味が無いなど、徐々に不満が出てきてしまいました。リハビリの重要性・必要性について学んだ田井中は、自らのアイデアをリハビリスタッフに相談し、また、書籍などを調べながら、介護職員でも指導できるリハビリを考案し、ご利用者への提供を開始しました。現在、ペットボトルのふたに数字や平仮名を書き、段ボールに下書きされた数字や文字を並べる作業ができる備品や、写真を拡大し、パネルに貼り模様を切ったオリジナルのパズルを製作するなど、既製品には無い備品を製作してくれました。そして、この指の動きをすることで、脳にこのような効果があります、など、ご利用者が興味を持つような話をしながら付き添っています。リハビリスタッフによるリハビリが出来なくても、今までにないレクリエーションが増えたことで、いつしか不満の声も少なくなり、利用回数の減少に歯止めをかけることもできました。ご利用者のために田井中が考案してくれたことをご利用者の皆さんに伝えたところ、自分たちのためにありがたい、と喜びの声がきかれるようになり、今までリハビリの時間以外はテレビを見て過ごしていたご利用者も、新しいレクリエーションに積極的に参加、実施するようになりました。

リハビリの必要性を理解し、それを自身で製作した備品を利用してご利用者に伝えることで、満足度の向上と利用者減少に歯止めをかけてくれた田井中の活動を理事長賞に推薦致します。